

後期基本計画 令和 3年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 長内 司善 上下水道部長 及川 竜悦
-----------------	------------------------------

1. 政策の令和 3年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	生活基盤を整備、維持することにより、子どもから高齢者までが、安全に安心して暮らすことができる、ひとにやさしいまちづくりを目指します。また、活力あふれるまちを目指し、交流と活力、雇用の拠点づくりを進めます。
--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	76	77	79	80	80	C
			70.6	68.8	74.7	-	-	10.2
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	D
			69.1	68.1	71.2	-	-	△63.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75.6	77.1	78.5	80	80	C
			70.6	68.8	74.7	-	-	10.2
2	幸福 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	D
			69.1	68.1	71.2	-	-	△63.0
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 交通事故発生件数 単位 件以下	71	71	71	71	71	71	D
			57	65	65	-	-	0.0
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	D
			67.1	66.6	67.8	-	-	0.0
5	暮らし 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	2	1	1	0	0	0	A
			0	0	0	-	-	100.0
6	幸福 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	D
			69.1	68.1	71.2	-	-	△63.0

後期基本計画 令和 3年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 長内 司善
	上下水道部長 及川 竜悦

2. 政策の実現に向けての令和 3年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 中心拠点整備に向けた関係機関との調整が終わり、市街化区域編入への都市計画決定を行いました。また市道向新田線の用地取得及び事業の推進を図りました。 小岩井駅前広場整備に向けて用地買収や広場の整備が完了し、付帯するトイレの設計業務を終えました。 準用河川仁沢瀬川改修事業の用地測量を実施し、一部用地を取得、工事設計を終えました。また、大釜排水区雨水施設整備事業の事業推進を図りました。 水道料金徴収業務のモニタリングの実施などにより、財政の健全化と水道利用者サービスの向上を図りました。 「水安全計画」に基づき水質監視を徹底し安全な水を供給するとともに、老朽施設の更新と配水管耐震化及び漏水防止対策を行い水資源の有効利用に努めました。 施設改築計画の基礎となるアセットマネジメント策定に着手しました。不明水対策として取付管更生及びマンホール蓋交換を実施するとともに、合併処理浄化槽設置助成による汚水処理普及に努めました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心拠点形成に向けて、土地利用計画に係る関係機関との調整協議及び市道向新田線の整備 準用河川仁沢瀬川改修事業の推進及び大釜地区下水道(雨水)浸水対策事業の推進 水道事業後期経営計画に基づく施設の更新整備と耐震化の推進 料金徴収等業務の次期包括的委託に向けた検証及び利用者に向けた積極的な情報発信 公共下水道における接続率向上の取組及びアセットマネジメントの実施 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心拠点の形成については、市街化区域編入の都市計画決定等を行いました。また市道向新田線の整備については、用地取得及び事業の推進を図りました。 	

3. 政策の実現に向けて令和 3年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

B	取組みの一部見直しが必要
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵略など様々な要因により、国の補助金等の減少や建設資材の高騰が続いています。 人口減少やコロナ禍による社会環境の変化により、水道料金及び下水道使用料の減少が予想されます。 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4年度に水道事業経営計画（水道事業ビジョン）の見直し及び次期中期経営計画の策定を行う必要があります。 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 5年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金の内示率が年々減少していることから、優先順位を考慮し事業展開を図る必要があります。 コスト縮減、適正な料金設定等による安定経営に努めながら、施設の老朽化や災害対策、耐震化等を計画的に進めるなど持続可能な上下水道事業経営を目指します。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路改築などの事業が計画的に進まないことから、国への要望活動や財源確保に向けた活動を引き続き進める必要があります。 協働除雪など市民との協働による事業をさらに進めると共に除雪困難者への支援を検討する必要があります。 次期水道ビジョン、中期経営計画の策定及び財政シミュレーション、料金改定の検討を行います。 水道施設等更新計画を策定し、計画的な更新等事業を進めます。 資金力強化と下水道使用料及び経営戦略の見直しを進めます。 	

